

令和7年11月 白石市教育委員会臨時会 会議録

- 1 招集日時 令和7年11月10日（月） 午後4時30分
- 2 招集場所 白石市役所4階大会議室
- 3 出席者 半沢教育長、小室委員、鈴木委員、大橋委員、志村委員
- 4 欠席委員 なし

5 説明のため出席した者

教 育 部 山田教育部長
学 校 管 理 課 山田課長、山田課長補佐
生 涯 学 習 課 佐藤課長
こども未来課 菅野課長

- 6 本委員会の書記は、次のとおりである。
山田学校管理課長補佐

- 7 開 会 午後4時30分

8 議事日程

- ・第35号議案 今後の幼児教育・保育のあり方について（（仮称）白石市認定こども園・子育て支援拠点施設の整備について）（案）

9 教育委員会会議録署名委員の指名について

教育長：鈴木委員及び大橋委員を指名する。

10 議 事

- ・第35号議案 今後の幼児教育・保育のあり方について（（仮称）白石市認定こども園・子育て支援拠点施設の整備について）（案）
（ 質疑等 ）

鈴 木 委 員 ： 新しい公立の認定こども園ができるということで楽しみにしていました。しかしながら、現実には出生数減少の問題があり、計画は延期せざる

を得ないと思います。非常に残念な思いはありますが、現在の園の活性化については、進めていって欲しいと思います。よって、原案に賛成いたします。

志 村 委 員 : 結論から申し上げますと、原案に賛成いたします。

理由は、出生数の減少です。計画当初想定できなかった出生数の減少が現実にある中では、計画の変更は仕方がないことだと思います。施設の適正規模を見極めていくことが重要であると思います。

しかしながら、公立の認定こども園は必要であると思っています。公立であるからできること、公立でやらなければならないことがあると思います。今回の計画は素晴らしい計画であると思いますので、質を落とすことなく再検討をしていただければと思います。

小 室 委 員 : 市内では来年度から私立の認定こども園が３園になる可能性が高いとのことで、公が民間の経営を圧迫するようなことはいけないと思います。しかしながら、出生数がこれだけ減少している中でも公立は最後の砦だと思います。現在の施設建設計画に関する諮問は令和３年度の出生数を基礎として考えられており、現状の出生数の減少は当時想定のできなかったものであると思います。

よって現計画では、市内全体の幼児教育・保育の施設の規模からいえば、過大な施設となる可能性があります。市立の施設は将来的に子育て拠点施設も兼ねていく必要があると思うが、計画は一旦立ち止まり、私立の園の動向及び出生数を見極めた上で新しい計画を検討すべきだと思います。よって、本議案には賛成いたします。

大 橋 委 員 : 結論から申し上げますと一旦立ち止まることは仕方がないことだと思います。よって、本議案に賛成いたします。現在の出生数が令和３年度と比較して、これだけ減少することは想定できませんでした。私立の認定こども園が来年度から３園になる可能性が高いということで環境は充実していくこととは思いますが、公立の認定こども園も必要ですので、計画を見直しつつ進めていただきたい。学校再編もありますので、再編とともに考えていただければと思います。

教 育 長 : (委員全員に諮って) 全員一致で承認。

学校管理課長：次回定例会は、12月2日（火）午後1時30分から白石市役所3階第3会議室で開催する予定です。同日、午前に小原小・中学校の施設訪問も予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

以上

12 閉 会 午後4時48分 終了

13 本委員会の議決の結果は、次のとおりである。

- ・第35号議案 今後の幼児教育・保育のあり方について（（仮称）白石市認定こども園・子育て支援拠点施設の整備について）（案）（原案可決）

令和 7 年 11 月 10 日

署名委員 大橋 扶美子

署名委員 鈴木 順子